

➤ **持続可能な
社会を目指して**

コーポレート・レスポンシビリティ



持続可能な社会を目指して

コーポレート・レスポンシビリティ ミッション

世界中で革新的かつ責任ある活動を通して生活の最も信頼される企業となる

質向上に貢献することで、

グローバルな衛生課題の解決



人びと、特に女性や女兒が、安全な衛生施設を利用できるようにすると同時に子どもにとって危険な病気感染を防ぐ

“1億人”

2020年までに1億人の人びとの衛生環境を改善し、生活の質の向上につなげます

- 衛生課題の解決に貢献する製品の研究開発を推進する
- 途上国におけるトイレの衛生状況を改善するビジネスを立ち上げ展開する

水の保全と環境保護



調達から生産、流通、製品の使用・廃棄やサービスの利用に至るまで、全てのプロセスにおいて、水、エネルギー、およびその他の天然資源の保全に努める

“環境負荷ネットゼロ”

2030年までに、製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ」を実現します

- ライフサイクル全体を考慮した製品・サービスの環境配慮設計と拡販を推進する
- エネルギーや水使用効率の向上、資源循環の推進など、事業プロセス全体の環境負荷を低減する

多様性の尊重



製品やサービスなどを通じて、高齢者や身体障がい者の生活の質の向上に貢献する

多様な従業員の英知や視点を活かし、成長とイノベーションの原動力とする

“社内外の人びとの多様性を尊重する”

- 高齢者や身体障がい者の課題の解決に貢献する製品の研究開発を進める
- グループ全体で、各エリアにおけるダイバーシティの取り組みを推進する

倫理的な事業活動を行うことが、LIXILのコーポレート・レスポンシビリティ活動の基盤となっています

ガバナンス

公正な事業慣行

人権

労働慣行

品質・顧客

サプライチェーン

ステークホルダーエンゲージメント



(株) LIXILグループ
取締役 代表執行役社長 兼 CEO
瀬戸 欣哉

世界中の人びとのより豊かな暮らしと住まいの実現に貢献

LIXILグループは、企業市民として、地球規模の環境問題や社会的課題の解決に向け、積極的な取り組みを進めています。コーポレート・レスポンシビリティ（CR）は事業の持続的な成長の基盤であり、CR戦略と事業戦略は一致すべきであると考えています。

LIXILは、2013年以来、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」のメンバーに署名しています。グローバル・コンパクトで求められる「人権、労働、環境、腐敗防止」の4分野・10原則の実践はもちろんのこと、国連が策定した2030年までの持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）が掲げる、全ての人びとの健康的な生活の確保や安全な衛生設備・施設提供への支援などに積極的に取り組んでいます。

今後もLIXILはグローバルなネットワークとこれまでに培った知見や実績を最大限活用しながら、地球規模のさまざまな課題解決により大きな貢献をし、世界中の人びとのより豊かな暮らしと住まいの実現に邁進していきます。



グローバルな衛生課題の解決

安全で衛生的なトイレを使えない世界の人びと24億人

世界では3人に1人、約24億人が安全で衛生的なトイレを使えない生活を送っており、不衛生な水や劣悪な衛生環境による下痢性疾患で毎日800人の5歳未満の子どもが命を落と

しています。国連が策定したSDGsの目標の1つに、「全ての人びとに安全な水と衛生へのアクセスを確保する」ことが掲げられています。

2020年までに1億人の衛生環境を改善

世界中が危惧するこの問題の解決に向けて、LIXILグループは水まわり製品を提供するリーディングカンパニーとして正面から取り組んでいます。さまざまな協働先を通じて、途

上国のニーズに即した衛生ソリューションを開発し、「2020年までに1億人の衛生環境を改善する」ことを目標としています。

SATOによって衛生環境が向上した人数500万人以上

LIXILが提供するソリューションの1つが、プラスチック製の新興国向け簡易式トイレ「SATO (Safe Toilet/安全なトイレ)」です。最初のモデルはビル&メリンダ・ゲイツ財団からの助成を受けて開発され、2013年に初めてバングラデシュで発売されました。SATOは、従来の汲み取り式トイレの課題となっていた、悪臭やハエが媒介する病気の伝染を防ぐことができます。設置は簡単で、1台数ドル以下という低価格で購入でき、洗浄に必要な水もごくわずかです。また、2015年にアメリカ商務省より、「人類のための特許賞」を受賞しました。SATOの事業と提供地域の拡大はLIXILが掲げる目標達成に向けた主要な戦略の1つであり、すでに世界14か国以上で100万台超が使用されています。

衛生問題は規模が極めて大きく複雑であるため、各市場のインフラ、所得水準などの特性やニーズに合わせた複数のソリューションの開発・検証を進めています。



SATO

SATOの仕組み

- 1 排泄後、水を流す
- 2 重みで弁が開き水と排泄物が流れる
- 3 排泄後、水を流す



世界の衛生環境を改善しよう！
みんなにトイレをプロジェクト



一体型シャワートイレ1台の購入でアジアやアフリカに「SATO」を1台寄付

LIXILは、2017年4月から9月の期間、全ての一体型シャワートイレ1台が購入されるごとに、トイレが不足するアジアやアフリカの国々に簡易式トイレSATOを1台寄付する「みんなにトイレをプロジェクト」を実施します。LIXILと国連機関や国際NGOが連携し、

SATOを提供することで、トイレを使うことによるメリットを伝え、適切な衛生習慣を普及させることを目指しています。また本プロジェクトを通して、世界における衛生問題について日本での理解を高めることも目的としています。



断熱窓レガリス施工例

水の保全と環境保護

気候変動とパリ協定

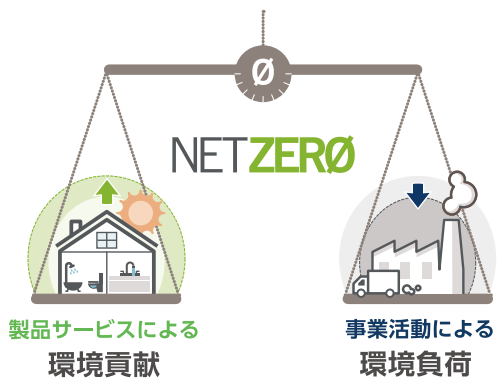
地球温暖化などの気候変動により、世界的規模で異常気象の増加、水不足、食糧不足などの社会問題が顕在化しています。この問題に国際社会が一丸となって取り組むべく、今世紀末までに二酸化炭素などの温室

効果ガスの人為的な排出と吸収をバランスさせるという長期目標であるパリ協定が発効されました。SDGsの目標13でも、「気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る」ことが掲げられています。

2030年に環境負荷ネットゼロ(±ゼロ)を実現

LIXILグループは2030年に環境負荷ネットゼロを実現するという「環境ビジョン2030」を策定し、技術革新による省エネ・節水といった「製品・サービスによる環境貢献」が、原材料調達から製造、製品の使用などサプライチェーン全体の「事業活動による環境負荷」を超える「環境負荷ネットゼロ」を目指しています。

LIXILの事業活動の環境負荷は、製品使用時が全体の約7割を占めます。優れた環境性能と快適性を両立する製品・サービスを開発・提供することで、気候変動という社会課題の解決に貢献します。



環境ビジョン2030



地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしています。

エコ・ファーストの約束

「エコ・ファースト」とは、企業の環境保全に関する業界のトップランナーとしての取り組みを促進していくため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。LIXILは、「LIXIL環境ビジョン」の環境戦略重点テーマに基づいた具体的な取り組み内容と目標を明確にした活動を積極的に推進することを約束し、環境省から「エコ・ファースト企業」として認定を受け、活動報告を行っています。

環境性能と快適さを両立する 製品・サービス

LIXILグループは、「環境ビジョン2030」の実現を目指して、製品・サービスの省エネ性能の向上に努めています。

断熱窓

レガリスは、窓の持つ開放性はそのままに、壁とほぼ同等の断熱性能を持つ高性能5層ガラス窓です。特殊薄板ガラスを使用し、高性能ガスを封入することで、世界最高峰の断熱性能0.55W/m²・Kを達成しました。一般的な3層ガラス窓と同等の軽さも実現しています。開発段階で生まれた高性能窓の技術を、今後積極的に商品展開し、2020年度までにLIXILにおいて高性能窓比率70%以上を目指します。



節湯水栓

GROHE SilkMove ESシングルレバー混合水栓は、グローエ特有のなめらかなレバーの操作性はそのままに、環境にも配慮しています。通常のシングルレバー混合水栓は、レバーが正面の位置を向いている時に温水を混合して温かい水が出ますが、GROHE SilkMove ES機能付の水栓は、正面の位置では水が、レバーをカチッとするまで左に回すとお湯が出る仕組みになっています。これにより、無意識にお湯を使ってしまうことによるエネルギーの無駄を防ぎます。





多様性の尊重

2050年、世界人口の5人に1人が60歳以上

世界では高齢化が進んでおり、2050年には、世界の人口の5人に1人が60歳以上の高齢者になり、その多くが単身か夫婦のみの高齢世帯になると予測されています。また、現在、世界の約15%の人が何らかの障がいを持っており、その比率は年々増加しています。

さまざまな視点からのアイデアを取り入れた製品やサービスの研究・開発を進め、製品やサービスなどを通じて、特に高齢者や身体障がい者の生活の質の向上に貢献していきます。

ひとりひとりが輝ける職場を目指して

誰もが相互に尊重しあい、それぞれの実力を発揮できる企業風土づくりを目指しています。有給休暇取得促進や在宅勤務制度の試験導入など働き方改革に取り組み、また、各自のキャリア開発も支援しています。

そして、さまざまな国籍の人材の採用や障がい者の雇用も進め、多様な従業員の英知や視点を活かし、成長とイノベーションの原動力とすることで、企業としての持続可能性を高めます。

ユニバーサルデザインの浸透

ユニバーサルデザイン出前授業

持続可能な社会を実現していくためには、その担い手を育成する「持続可能な開発のための教育：ESD（Educational Sustainable Development）」が必要とされています。ESDとは、地球規模の課題を、自らの問題として捉え、課題解決につながる価値観や行動を生み出すことを目指す学習や活動です。LIXILは、自社の知見や技術を活かし、2010年から従業員が地域の小学校で衛生課題や水の大切さをテーマに出前授業を行っており、



2017年からはユニバーサルデザインのプログラムも追加し、子どもたちにお互いを尊重することの大切さを伝えています。

ユニバーサルデザインが目指すこと

住まいは、家族みんなが使うもの。さまざまな身体状況への対応が求められます。ひとりひとりの変化に応じた空間づくりを目指しています。

シャワー・ド・バス

アームとノズルの角度を体格に合わせて調節できるシャワーです。10か所のノズルから微細なシャワーを噴出し、からだ全体を包み込むため、浴槽に入るのが大変な時でも、お湯につかるのと同じように足先までしっかり温まります。



アーキスライド

レールがない、軽い力で開閉できるスライド門扉です。つまずきの心配もなく、引き戸の引き込みスペースがない敷地でも広い間口が確保できます。車椅子使用時や、大きな荷物を抱えての使用時も出入りがラクです。



CR活動の基盤となる、倫理的な事業活動の実践



ガバナンス

グループ・ガバナンスの高度化を通じ、企業価値の最大化を図る



公正な事業慣行

全ての従業員および役員が高い企業倫理に基づき、誇りを持って日々の事業活動に従事する



人権

人権の尊重を事業継続の基本要件と捉え、社会とともに持続可能な企業をめざす



労働慣行

従業員が活き活きと個々の能力を最大限に発揮できる職場を構築し、強い企業体質を実現する



品質・顧客

製品・サービスを通じた顧客との信頼関係を強化する



サプライチェーン

サプライチェーン全体のCRマネジメントを通じ、製品の安定供給と、ステークホルダーへの説明責任を果たす



ステークホルダーエンゲージメント

主要なステークホルダーとの積極的かつ能動的なエンゲージメントを実施する

品質・顧客

製品安全に関する情報発信

過去に起きた不具合事例や製品事故再現品、事故を未然に防ぐための製品や点検ポイントなどを東京江東区のLIXIL WINGビルにある「Safe Lifestyle Gallery (安全な暮らしのギャラリー)」に展示しています。製品事故の現象や原因を正しく理解して製品を安全にご使用いただくために、お客さまの安全・安心に役立つ情報を提供します。



ステークホルダーエンゲージメント



コミュニティダイアログ

国内の工場や営業拠点、店舗では、地域住民の皆さま（自治会、学校関係者、NPO、地元企業など）に参加いただき対話しています。まずはお互いを知り、商品・サービス、環境、防災、学校・教育、交通、自治会関係など幅広い分野で地域の課題について意見交換し、LIXILが企業市民として持続的に貢献できることを見出していきます。

(株) LIXILグループ 執行役専務

Jin Song Montesano



社会全体に ポジティブな変化を

CR戦略と重要課題の策定にあたっては、社会的ニーズやステークホルダーの期待といった外部の要請と、LIXILグループの専門性および事業戦略とが合致する分野を選定しました。CR戦略は、グローバルにグループ全体をカバーしており、また、広範な課題に対応し、高い目標を設定しています。

CRはLIXILグループの長期的な発展の基盤であり、それゆえに、CR戦略は事業戦略と合致すべきだと、私たちは考えています。担当部門の役員がCRの重要課

題の責任者となるCR推進体制下で、事業とCR戦略の一層の統合を図るとともに、重点課題への迅速な対応を実現しています。

「世界で最も企業価値が高く、革新的で信頼されるリビングテクノロジーカンパニー」を目指し、国際社会に意義のある貢献をするために、私たちができること、やらねばならないことは多数存在します。CR戦略のもと、私たちは、グローバルな課題解決へ長期的にコミットしていきます。

より詳細な情報を公式ホームページにて公開しています。

グループ全体における取り組み

サステナビリティ

<http://www.lixil.com/jp/sustainability/>

日本における取り組み

持続可能な社会を目指して

<http://www.lixil.co.jp/corporate/sustainability/>



LIXIL – 住まいと暮らしをデザインする

株式会社LIXILグループは多岐にわたる建材・設備機器と幅広い住関連サービスを提供しており、世界150以上の国と地域で事業を展開、8万人超の従業員を擁しています。LIXILグループの中核事業会社・株式会社LIXILは、2011年に国内の主要な建材・設備機器メーカー5社が統合して誕生しました。その後、American Standard Brands、GROHE、Permasteelisa Groupといった海外企業を統合し、グローバルに事業を拡大しています。

生活者の視点に立ったイノベーションを推進し、「リビングテクノロジー」の提供を通じ、世界中の人びとのより良い暮らしと住まいの実現を目指しています。

株式会社 LIXIL

東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
霞が関ビルディング36階 〒100-6036
www.lixil.com/jp



XV7200	01	2017.5.20 発行
--------	----	--------------